

関東大震災 100 年シンポジウム

「関東大震災 100 年－復興事業の現在、そして未来は？」

都市計画、建築史、橋梁工学の専門家が、関東大震災後の復興計画を踏まえながら、千代田区内の震災復興橋梁、橋詰広場、街頭トイレなどを中心に復興事業の今日的意義と課題について解説します。



コーディネーター：

伊東 孝

産業遺産情報センター研究主幹



山崎 鯛介

東京工業大学博物館 教授

東京工業大学大学院理工学研究科修了後、有限会社早川正夫建築設計事務所勤務。東京工業大学工学部建築学科助手、千葉工業大学建築都市環境学科准教授、東京工業大学環境・社会理工学院准教授を経て2019年より東京工業大学博物館副館長・教授。博士（工学）。専門は近代建築史、建築アーカイブズ、歴史的建造物の保存活用など。



紅林 章央

(公) 東京都道路整備保全公社
道路アセットマネジメント推進室長
土木学会関東支部選奨土木遺産選定委員長
元東京都建設局橋梁構造専門課長

著作 『東京の橋 100 選 + 100』
『HERO 東京をつつた土木エンジニアたちの物語』（都政新報社刊）、『100 年橋梁』、『東京の美しいドボク鑑賞術』（共著）（出版：エクナレッジ）、『日本の近代土木遺産』（土木学会共著）など。
『橋を透して見た風景』（都政新報社刊）で、平成 29 年度土木学会出版文化賞を受賞。



伊東 孝祐

都市・土木史研究所
東京都立大学工学部土木工学科
博士（都市科学）

専門は都市計画史、土木史。
著書に『中央区の橋・橋詰広場』（共著）。
近年は、災害後の都市復興計画に関する研究を行っている。

令和 5 年 10 月 5 日（木）

18：30～20：30（18：00 開場）

お申し込み

右記 QR にて必要事項を記入し
お申し込みください。



アクセス

千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」 B2 出口より徒歩約 3 分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」 A7 出口より徒歩約 3 分
- 東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」 C4 出口より徒歩約 3 分
- JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約 10 分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

会場：千代田区立日比谷図書文化館 地下 1 階
日比谷コンベンションホール（大ホール）

定員：150 名 参加費：一般 1,000 円
千代田区民 500 円

※専門的な解説を含むため中学生以下の参加は不可



“関東大震災 100年”

バスで巡る千代田の復興建築 (約180分)



集合場所
千代田区観光協会前
(千代田区九段南 1-6-17)



開催日程

令和5年10月6日(金)
午前の便 午後の便
9:30~12:30 13:30~16:30

ルート

千代田区観光協会前集合→東京都復興記念館→バス内より日比谷公会堂など千代田区内の復興建築を見学→千代田区観光協会前解散
(見学ルートは変更する場合があります)

内容

東京都復興記念館を見学後、バス内より千代田区内の復興建築と震災復興事業について専門家が解説。
解説：神奈川大学建築学部建築学科特別助教 姜 明采 (かん みよんちえ)

対象者

中学生以上

定員

午前・午後各30名

(申込順、最小催行人数25名)

費用

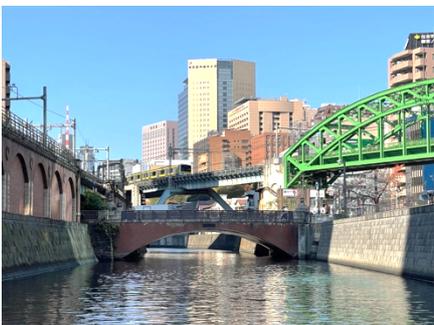
区民500円 一般1,000円

申込方法

お申込みはQRコードからお申込みください。
締切日：9/22(金)までとなります。



神田川ー日本橋川ー隅田川の 震災復興橋梁クルーズ (約120分)



開催日程

令和5年9月17日(日) 令和5年10月4日(水)
10:30~12:30

ルート

千代田区防災船着場集合→日本橋川→隅田川→神田川→千代田区防災船着場解散

内容

「千代田区内の震災復興橋の保存と活用」
解説：(公財)東京都道路整備保全公社 紅林 章央
NPO法人ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会 理事長 岡田 邦男

対象者

中学生以上

定員

35名

(申込順、最小催行人数25名)

費用

区民500円 一般1,000円

集合場所

千代田区防災船着場
(千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所裏)

申込方法

お申込みはQRコードからお申込みください。
締切日：9/17(日)の便は9/13(水)まで
10/4(水)の便は9/29(金)まで



総合お問合せ先：

NPO 法人ちよだの水辺を魅力ある都市空間に再生する会

TEL：070-3232-0754

平日 10:00~15:00